

平成21年度 第1回佐渡市行政改革推進委員会

1. 日 時 平成21年7月3日(金) 14:00～16:05
2. 場 所 佐渡市役所 3階 大会議室
3. 出席者 18人

推進委員		佐渡市役所	
会 長	信 田 恵 子	副市長	甲 斐 元 也
職 務 代 理	中 川 英 男	総務部長	斉 藤 英 夫
委 員	伊 藤 稔	総務部副部長	中 川 義 彦
〃	宇 留 間 博	事 務 局	
〃	後 藤 新 一	総務部行政改革課長	佐 藤 金 満
〃	田 村 秀	総務部行政改革課長補佐	本 間 明 夫
〃	松 本 保 之	総務部行政改革課行政評価係長	加 藤 留 美 子
〃	山 本 初 子	総務部行政改革課行政評価係主事	長 尾 啓 介
〃	山 本 保 孝	総務部行政改革課行革推進係長	岩 崎 徳 之
		総務部行政改革課行革推進係主任	北 見 太 志

4. 会議内容

1. 開会
2. 市長あいさつ
3. 事務局紹介
4. 会長の互選(職務代理者の指名)
5. 諮問
6. 議事
 - 1) 佐渡市行政改革推進委員会の年間開催予定について
 - 2) 佐渡市行政改革大綱実施計画(集中改革プラン)の進捗管理(評価方法等)について
 - 3) 第2次佐渡市行政改革大綱の策定スケジュールについて
 - 4) 2008改革マニフェストの最終評価について
 - 5) その他
 - ・本年度の行政改革課の重点取組事項について
7. 閉会

会 議 録 (要 約 版)

1. 開会
佐藤行政改革課長あいさつ及び進行
2. 市長あいさつ
甲斐副市長あいさつ

3. 事務局紹介

異動職員のみ自己紹介を行う。

4. 会長の互選（職務代理者の指名）

佐渡市行政改革推進委員会条例第4条に基づき、互選により信田恵子委員を会長とし、職務代理者に中川英男委員を指名。

5. 諮問

甲斐副市長から、行政改革の推進にあたり、1. 佐渡市行政改革大綱実施計画（集中改革プラン）の進捗管理について、2. 第2次佐渡市行政改革大綱について、委員会の意見を求める諮問書を信田恵子会長に交付。

6. 議事

1) 佐渡市行政改革推進委員会の年間開催予定について

【事務局の説明】

今年度は、当委員会については、6回の開催を予定している。

●第1回→平成21年7月3日

主な議件：マニフェストの評価方法及び第2次佐渡市行政改革大綱の策定スケジュール

●第2回→平成21年8月上旬

主な議件：平成20年度改革マニフェストの最終評価及び答申書の作成

●第3回→平成21年8月下旬

主な議件：第2次佐渡市行政改革大綱の原案について審議

●第4回→平成21年10月上旬

主な議件：第2次佐渡市行政改革大綱の原案について審議及び答申書の作成

●第5回→平成22年2月下旬頃

主な議件：平成21年度改革マニフェストの中間評価

●第6回→平成22年3月中旬

主な議件：本年度の当委員会の中間答申書の作成

2) 佐渡市行政改革大綱実施計画（集中改革プラン）の進捗管理（評価方法等）について

【事務局】

昨年度までの評価方法について説明。

評価方法は、計画の妥当性（Plan）、取組過程（Do）、実績（Check）、取組後の対応（Action）について、5段階評価とし集計結果を行革推進委員が審議し、最終評価を取りまとめる旨を説明。

昨年度までは各部局長によるプレゼンテーションを通じて計画の妥当性（Plan）」の評価を実施したが、既にマニフェスト公表後のため、評価を実施してもその意義が薄いとの意見があったことから、本年度は行政改革推進本部での内部評価に重点を置き、四半期に1回、各部局長より自己検証シートを提出してもらい、その自己検証シートを比較することで、計画の妥当性（Plan）の評価をお願いしたい旨を説明。

【中川委員】

昨年度までの全項目を評価する方法も悪くないが、機械的になる可能性があるのものでそのあたりをどう考えるか。

【田村委員】

以前から申し上げているが、各部がその気にならないと行革にならないということで各部に考えてもらうということが一点。それから全項目を機械的にやるのが確かに良いのかと思う部分もある。重点的な項目について評価した方が、議論が深まると思う。全項目では薄く見てしまう場合もあるので、より市民目線で必要に思う部分を重点的に見ていくということもひとつある。

【宇留間委員】

項目を絞るのも結構だが、都合の良いものを出して、悪いものを引っ込めるということも考えられる。そのあたりの兼ね合いがどうなるのかと思う。

【伊藤委員】

各部局に優先順位があると思う。その3項目位を集中審議したらどうか。

【山本(保)委員】

部局長から重点項目を出してもらい、その他に各委員が評価したい項目があれば追加してはどうか。

【信田会長】

集中的に重点項目を評価する方法で良いか。

【委員】

賛成。

【事務局】

例えば、委員が項目を選ぶことはどうか。各部局が項目を選ぶと都合の良い項目ばかりということにはならないか。

【田村委員】

誰が選ぶのかということが問題である。各部局に主体性を持たせる考え方をするのであれば、各部局長に選んでもらう。納得できない項目は委員からの追加で修正するというところでどうか。委員の間でも考え方が異なり、決まらないと思うので事業を主体的にやっている各部局に選んでもらった方が良いと思う。

【信田会長】

各部長から重点項目を選んでいただき、委員が項目の補足をするということで良いか。

【委員】

賛成。

【事務局】

各部長に重点項目を確認し、次回の委員会で提示する。

3) 第2次佐渡市行政改革大綱の策定スケジュールについて

【事務局】

現佐渡市行政改革大綱及び実施計画書は総務省の指針に基づき策定した旨を説明。本年度でその計画期間が終了するが、今回は総務省からの指針が未だ示されていない。しかしながら、未だ改革半ばであり、合併を乗り越えた本来の佐渡市のあるべき姿を見据えて、更なる改革の推進が必要であると考えていることから、平成22年度より大綱については10年間、実施計画は5年間の計画期間として策定したい旨を説明。

また、策定するにあたっては本年度策定予定の「佐渡市総合計画の後期基本計画」及び交付

税の算定一本化となる平成31年度までの「財政計画」との整合性を図る旨を説明。

今後のスケジュールを説明。第2次行政改革大綱及び実施計画の原案は、7月上旬から8月中旬に作成し、8月下旬に本委員会に提示し、約1カ月後の10月上旬の答申を受けたい旨を説明。

【中川委員】

実施計画は通常業務的な項目を掲げるのではなく、重点的な項目に絞っていただきたい。

【事務局】

本当に必要な項目に絞り込みたいと考えている。

4) 2008改革マニフェストの最終評価について

【事務局】

今年2月に中間評価を実施したが、年度途中であることから、自己検証シートの実績は見込値であった旨を説明。出納整理期間も終了したことから、再度、自己検証シートを確認していただいた。その結果、前回と異なる部分を朱書きで記載したので再度、個別評価表の見直しをお願いしたい旨を説明。

市長に最終答申するまでの流れを説明。

5) その他

- ・本年度の行政改革課の重点取組事項について

【事務局】

本年度の重点取組事項の取組状況について説明。

①行政評価

18年度から3カ年で行政評価システムを構築した。本年度からは評価結果の活用を図る予定である。佐渡市の行政評価システムは、事務事業評価、施策評価の2段階構成となっており、4月に事務事業評価の実施、6月に施策評価の実施、8月に行政評価委員会及び行政改革推進本部を開催し、評価結果の公表は3月頃になる旨を説明。

②公共施設の整理統合

平成18年6月に「佐渡市公共施設見直し指針」を策定し、その指針に基づき施設整理を進めている。しかし、これまでの状況では施設整理が進まないことから、今年3月に各施設の方向性と処分年次を行政改革課案で作成し、所管部局に示した。併せて議会の行財政特別委員会にも提示し、議会としての意見をいただく予定である。行政改革課の考え、所管課の考え、議会の意見を比較し、最終的に行政改革推進本部で各施設の方向性を決定し、整理統合実施計画書として、市民に公表したい旨を説明。

③職員数の削減

定員適正化計画より職員削減が進んでいるが、佐渡市の職員数は類似団体と比較しても多い状況である。よって、新たに平成31年度までの定員適正化計画の策定を考えている旨を説明。

7. 閉会

中川委員あいさつ